

## 千葉市国際交流協会 web サイト刷新業務委託 仕様書

本仕様書は、千葉市国際交流協会（以下「発注者」という。）が運営する web サイトを刷新するため、web サイトの制作業務及び保守管理業務委託（以下「本業務」という。）の受注者を公募するにあたり、必要とする基本的事項について定めるものである。

### 1 業務委託名

千葉市国際交流協会 web サイト刷新業務委託

### 2 業務目的

現在の公益財団法人千葉市国際交流協会のホームページ (<https://ccia-chiba.or.jp>) が公開され、6 年が経過する。その間、外国人市民数の増加や社会情勢・閲覧環境等の変化により、求められるニーズに対応しきれていない部分が発生している。具体的には、ユーザビリティ・アクセシビリティへの対応、災害発生時における迅速かつ的確な情報発信、またスマートフォンやタブレット端末等への対応を行う必要があるため、以下の方針を基に、本業務を実施する。

#### 【方針】

- (1) 外国人市民にとっても、日本人市民にとっても、わかりやすく得たい情報に容易に到達できるような web サイトにする。
- (2) 職員による情報の更新作業が容易で、迅速に情報提供が行えるようにする。
- (3) 情報通信技術を用いて、発注者の提供するサービスの利便性の向上と、職員の業務の効率化を図る。

### 3 履行期間

- (1) web サイトの制作  
期間：契約締結日から令和 4 年 1 月 31 日まで  
サイトの公開日は令和 4 年 2 月 1 日とする。
- (2) 追加機能の実装  
期間：契約締結日から令和 4 年 3 月 31 日までに順次実装
- (3) システム保守  
期間：令和 4 年 2 月 1 日から令和 7 年 1 月 31 日まで

## 4 業務内容

- (1) web サイトの構築
- (2) 掲載する記事の移行・作成
- (3) デザイン設計
- (4) セキュリティ対策の実施
- (5) 自動翻訳サービスの実装
- (6) 緊急情報の通知（災害時・緊急時（感染症等）等の情報発信）
- (7) 追加機能の実装
- (8) 保守・運用支援
- (9) CMS・サーバの初期設定、及び研修

### (1) web サイトの構築

web サイトの構築には以下の基本要件を満たすこと。

- ① 利用者の目的とする情報に、原則3クリック、最大5クリック程度でたどり着く階層構造とすること。
- ② どんな情報が掲載されているかが一目でわかるように、アイコン等を活用し、トップページのカテゴリを見れば、掲載情報の内容が想像できるようにデザイン設計を行うこと。
- ③ PC やスマートフォンなどの端末ごとに最適化されたページが表示されるレスポンシブウェブデザインに対応していること。
- ④ 利用者が特別なアプリケーションなどをインストールする必要無く、web サイトを閲覧できること。
- ⑤ 編集環境として CMS を導入すること。
- ⑥ パソコン、タブレット及びスマートフォンからログインし、情報の更新が可能なこと。なお、ログイン時は、使用する担当者毎にID/パスワードを付与し、認証機能を設けることとした上、使用する機能及び範囲に適切な制限を設定すること。
- ⑦ web サイトの情報の追加・削除・修正といった編集業務を容易に行えること。
- ⑧ 作成したページを指定した期間で公開開始、公開終了ができること。
- ⑨ 将来的に機能（チャットボット等）を追加する等、拡張・改良ができること。
- ⑩ 動作環境について  
動作保障環境は、以下のブラウザとする。
  - ・パソコンの場合  
Internet Explorer 11 以上、Edge、FireFox、Chrome、Safari（いずれも納品時の最新版）とすること。
  - ・スマートフォン・タブレットの場合  
端末搭載の標準ブラウザで以下のOSが搭載されたものを前提とすること。iOS13以降、iPadOS13以降、android7以降

## (2) 掲載する記事の移行・作成

- ① 現 web サイトのブログ機能を使って公開している情報  
公開日より過去 1 年分の記事のテキストデータ及び画像データを  
移行すること。
- ② 別紙「サイト構成表（案）」で指定した 50 ページを新規に作成するこ  
と。（1 ページあたり 600 文字程度）また、運用開始後、サイト構成  
については、発注者においてその追加・削除を可能とすること。なお、  
階層は第 1～3 階層となる。
- ③ ①～②の内容を新 web サイトのデザインに合わせた形にして、掲載す  
ること。

## (3) デザイン設計

### ① 全体について

千葉市 web アクセシビリティ方針に則り、アクセシビリティに配慮  
したページにすること。

【千葉市 web アクセシビリティ方針参考】

[https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/accessibilitypolicy\\_20140331.html](https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/accessibilitypolicy_20140331.html)

「JIS X 8341-3:2010 等級 AA 配慮」

### ② トップページについて

- ア トップページに掲載する「日本語を学ぶ」「相談する」などのカテゴ  
ライズされた情報は、テキストとアイコンをセットで表示し、これらの  
項目の追加・削除・編集が容易にできること。
- イ 指定したタイミングで、トップページの「新着情報」に見出しと作成  
したページへのリンクが自動掲載されること。
- ウ 「新着情報」に掲載される項目には、投稿された記事のタイトルと関  
連するカテゴリのアイコン（トップページに表示されているアイコ  
ン）をセットで表示させること。
- エ 過去 7 項目程度の新着情報を掲載し、過去のものは別ページで閲覧で  
きるようにすること。また、当該別ページは、投稿されたカテゴリの  
分類ごとに情報のソートができるなど、見やすく閲覧できるような工  
夫をすること。
- オ トップページにバナー広告の領域を用意し、複数枚のバナーが掲載で  
き、その登録、変更、削除が容易にできること。
- カ トップページに発注者の SNS へのリンクをアイコンで表示すること。

## (4) セキュリティ対策の実施

- ① 脆弱性による web サイトの改ざん対策、悪意のあるスクリプト埋め込  
みへの対策、標的型攻撃対策、ウイルス対策、マルウェア対策、不正ア  
クセス対策等、外部からの脅威に対する対策等に万全を期すこと。

- ② 暗号化された接続で安心して web サイトを利用できるよう、常時 SSL で接続されること。
- ③ 情報漏洩対策が十分に取られていること。
- ④ セキュリティに関する理由などにより、それがシステムに与える影響が大きいと判断した場合には、システムの緊急停止を行い、すみやかに発注者に報告すること。

#### (5) 自動翻訳サービスの実装

- ① 外国人市民が、母国語で情報が得られるよう、全てのページに自動翻訳サービスの言語切り替えボタンを設置し、容易に母国語での情報閲覧ができるようにすること。
- ② 英・中・韓・ベトナム・スペインの5言語以上対応できるものとする。
- ③ 外部の自動翻訳サービスを利用する場合は以下の要件を満たすこと。
  - ・個人情報漏洩の対策が可能なものであること。
  - ・翻訳する量に関わらず、サービス利用料が一定のものを利用すること。(翻訳サービス利用料は発注者が負担する。)
  - ・年間のサービス利用料が10万円程度のものを利用すること。

#### (6) 緊急情報の通知(災害・感染症などの急な通知)

- ① 新着情報の上部など、トップページの目立つ場所に配置すること。
- ② 「緊急情報の通知」をクリックすると、該当情報が掲載されているページにアクセスできること。(例：災害情報の記事など)
- ③ 通知の文章を編集できるようにすること。  
(例：「台風のお知らせ」「土砂崩れに注意」など)
- ④ 管理画面から緊急情報の通知のオンオフが任意で切り替えられること。

#### (7) 追加機能の実装

追加機能は下記の①～⑦とし、以下の基本要件を満たすこと。

##### 実装する追加機能

- ① ふりがな自動表記機能
- ② 予約サービス
- ③ 登録ボランティア団体の紹介ページ
- ④ 申込ページ
- ⑤ 書類のダウンロードのページ
- ⑥ PDFの電子書籍風の閲覧
- ⑦ 年間スケジュールの掲載ページ

また、追加機能の実装を行う際に、外部サービスを利用する場合は、下記の「外部サービスを利用する際の要件」を順守すること。

## 外部サービスを利用する際の要件

- ①外部サービスを通じた個人情報の漏洩が起きないように必要な対策を講じること。
- ②外部サービスの廃止や、サービス内容・規約などの変更によって、webサイトに実装した機能の提供が困難になった場合は、発注者と協議の上、速やかに代替サービスを実装し、本サイトの運営に支障が出ないように努めること。
- ③外部サービスが原因で、実装した機能の中断や廃止を行う場合は、当該機能に関連する範囲のwebサイトの改修を行い、webサイト運営に支障のない状態に修正すること。

## 実装する追加機能の要件

- ① ふりがな自動表記機能
  - ア 全てのページにふりがなボタンを設置し、ボタンを押すと自動的にルビがふられるサービスを提供すること。
  - イ 外部サービスを利用する場合は、年間の利用料が6万円以下のものとする。
- ② 予約サービス
  - ア 会議室などの予約を可能とするサービスを提供すること。
  - イ 外部サービスを利用する場合は、年間の利用料が5万円以下のものとする。
  - ウ 複数の企画の予約を個別に管理でき、その管理が容易であること
  - エ 予約の対象者を限定しない機能と対象者を限定する機能を設け、使い分けをして公開が可能なこと。
  - オ 同一枠内で、異なる時間の予約を受け付け可能であること
- ③ 登録ボランティア団体の紹介ページ
  - ア ボランティア団体をリストで紹介するページを整備すること。
  - イ ボランティア団体の情報の、表示/非表示の切り替えや、ボランティア団体の情報の登録・変更・削除が容易に行えること。
  - ウ 「ボランティア名」「活動内容」「対応可能言語」など、記載項目を任意で設定できること。
  - エ 利用者が簡易的なキーワード検索またはカテゴリ検索ができること。（「日本語教室」「中央区」「英語」「通訳」など）
  - オ リスト内に「問い合わせ」ボタンなどを用意し、利用者が直接問い合わせができる仕組みであること。利用者が問い合わせを行うと、利用者と発注者とボランティアにそれぞれ問い合わせ内容の記されたメールが送信される仕組みであること。
  - カ 本機能で類似ページの作成もできるものであること。

#### ④ 申込ページ

- ア 講座など、申し込みが必要な企画に関して、web 上での申し込みを可能とする機能を整備すること。
- イ 申込ページは、作成者が容易に作成可能なこと。
- ウ 氏名や住所など、記入項目を任意で設定できること。プルダウンボタンなどを用意し、選択できるような仕組みがあること。
- エ 受付期間が設定できること。
- オ 毎年行う企画もあるので、企画への申込の受付・受付停止が任意で設定できるものであること。

#### ⑤ 書類のダウンロードのページ

- ア ボランティアの登録用紙や助成金関連の書類など、申請書類がダウンロードできるページを整備すること。
- イ アップロードしたファイルの管理が容易にできる仕組みであること。

#### ⑥ PDF の電子書籍風の閲覧

- ア PDF ファイルを、本を読むように（電子書籍風に）閲覧できる機能を提供すること。
- イ 利用者の端末に応じて最適化された電子書籍風 PDF ファイルが表示され、その場でページがめくられて読むことができること。
- ウ テキストに PDF のリンクを張り付け、クリックすると電子書籍風にかかれた PDF ファイルが表示されること。
- エ 障害発生時、復旧までの間、発注者による簡易な作業等で、機能を通さなくても利用者が PDF を閲覧できる仕組みを整備すること。

#### ⑦ スケジュールの掲載ページ

- ア 発注者の月ごとのスケジュールを表示するページを整備すること。
- イ 見やすさと管理のしやすさを重視した予定表であること。
- ウ 指定したテキストにリンクを任意に設定できること。

### (8) 保守・運用支援

- ① CMS のアップデートによる不具合や障害発生に対応すること。（大規模な修正が必要な場合は別途協議）
- ② 外部サービスの廃止や、サービス内容・規約などの変更によって、web サイトに実装した機能の提供が困難になった場合は、発注者と協議の上、速やかに代替サービスの実装やエラーページの修正など、必要な改修を行うこと。
- ③ システム稼働監視を行うこと。
- ④ システムが安定して稼働するために保守業務を行うこと。（大規模な修正が必要な場合は別途協議）

- ⑤ お問い合わせサポート（電話・メール 発注者の業務時間に配慮して対応すること）

## （9）CMS・サーバの初期設定、及び研修

利用サーバは「Xserver Business B10」とする。

参考：現在使用している CMS Joomla

- ① 外部からの攻撃に対するセキュリティ対策
- ② ドメイン移行設定
- ③ CMS の復元に必要なバックアップの設定
- ④ CMS 及び追加機能の操作マニュアルの提供・研修の実施
- ⑤ CMS のバックアップマニュアル・復元マニュアルの提供・研修の実施

## 5 スケジュール

令和4年2月1日に web サイト（追加機能を除く）を公開する。

スケジュールは下記のとおりである。

令和4年1月4日～	テストサイト公開
令和4年1月中旬	サイトの最終調整
令和4年2月1日	サイト公開
令和4年3月31日まで	追加機能順次実装

## 6 検収

### （1）テスト運用と検査

本サイトが、本仕様書に示す要件を満たしたうえで、正式稼働できることを確実にするため、最終検査の前にテスト運用及び修正対応を行う期間を設定すること。

発注者が正式稼働後に想定される運用フローに基づきテスト運用を行うとともに、本仕様書の示す事項が実現されているかどうかについて検査を行う。対応不十分な事項や改善が望ましい事項があった場合は、速やかに修正対応すること。

### （2）検収（最終検査）

納品の前に最終検査及び修正対応を行う期間を設定すること。

発注者が、本仕様書に規定されているすべての機能が正常に動作するかについて検収を行う。

対応不十分な事項や改善が望ましい事項があった場合は、速やかに修正対応すること。

正式稼働前に修正を行う事が困難な場合は、発注者と協議の上で対応すること。

## 7 成果品等

- (1) web サイトのデータ (データはサーバに格納すること)
- (2) CMS 及び追加機能の操作マニュアルデータ (word 形式)
- (3) CMS のバックアップ及び復元の操作マニュアルのデータ (word 形式)
- (4) 業務完了報告書

## 8 委託料の支払等

- (1) 令和3年度分の業務に係る委託料については、受注者から完了報告書が提出され、発注者による検査を行った後に、委託料の支払いを請求できる。発注者は、受注者から委託料の支払請求を受けた日から30日以内に委託料を支払う。
- (2) 令和4年度以降の委託料(システム保守)については、3か月ごと(令和7年1月分のみ1か月)の業務終了後に受注者から完了報告書が提出され、発注者による検査を行った後に、委託料の支払いを請求できる。発注者は、受注者から委託料の支払請求を受けた日から30日以内に委託料を支払う。

## 9 特記事項

- (1) 機密保持等について

受注者は、業務上知り得た情報を他に漏らしてはならない。また、そのために必要な措置を講じること。また、受注者は、本業務の実施にあたり個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

すべての作業において、本業務に係るデータ及び情報システムの取扱いには細心の注意をもって管理すること。

- (2) 契約不適合について

本業務の最終成果物に契約不適合が生じた場合、無償で修復ができる体制を用意すること。

- (3) 著作権の取り扱いについて

本業務の最終成果物(プログラムファイル、各種マニュアル等)のうち、デザインに掛かる部分の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)及び所有権は発注者に譲渡すること。また発注者が2次的に利用する際にも、著作者人格権を行使しないこと。

受注者は、成果物について、第三者の著作権、商標権、意匠権その他の知的財産権等の一切の権利を侵害しないことを保証することとし、成果物について第三者の権利を侵害していた場合に生じる一切の責任は受注者が負うものとする。疑義が生じた場合はその都度発注者と協議すること。

- (4) その他

受注者は、本業務の目的や意図を十分に理解したうえで、誠意をもって業務を遂行するものとする。

本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じた場合は、発注者及び受注者が協議の上定めるものとする。